

DRV518S

ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードに映像やデータを録画保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.14

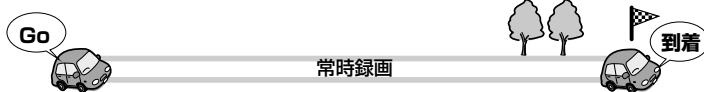
録画機能について

本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の映像を録画することができます（常時録画）。

さらに、運転中や駐車中に車両に大きな衝撃が加わった前後または衝撃後の映像を記録することができます（イベント（衝撃）記録 / 駐車録画モード）。

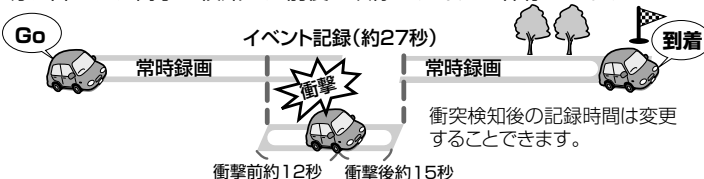
常時録画 P.16

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



イベント（衝撃）記録 P.18

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後の映像ファイルを保存します。



駐車録画モード P.20

駐車場などに車を停めてイグニッションキーをオフにすると
駐車録画モードに入り、車両に衝撃を検知すると駐車録画を開始*します。



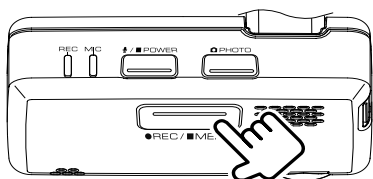
駐車録画は、約 10 秒（お買い上げ時）録画します。録画時間は変更することができます。（33 ページ または 41 ページ）

*駐車録画開始時間設定（降車時）/ 駐車録画停止時間設定（乗車時）の間に衝撃があった場合は録画できません。

その他の録画機能

手動録画：

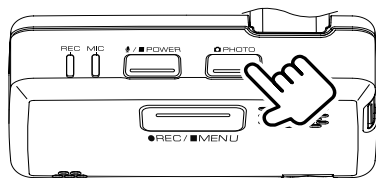
本機の「REC/MENU」ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。



P.17

静止画記録：

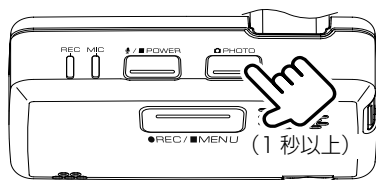
本機の「PHOTO」ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。



P.19

自動静止画連続撮影：

本機の「PHOTO」ボタンを1秒以上押し続けると、設定した枚数の静止画を一定の間隔で自動的に撮影することができます。



P.19

録画ファイルの再生方法について

録画ファイルの再生方法は専用ビューアソフトまたは接続しているモニターで本機の再生メニューから再生することができます。

- 専用ビューアソフトで再生する・・・24 ページ
- モニターに表示して録画したファイルを再生する・・・36 ページ

本機の設定をする

録画機能や、衝撃検知の感度などの設定を変更できます。
設定方法はパソコンに専用ビューアソフトをインストールして行う、または接続しているモニターに本機の設定メニューを表示して設定することができます。

ビューアソフトで設定する



P.32

モニターに表示して設定する



P.36

■ 録画画質の設定

録画画質は、1280 × 720/1920 × 1080/2304 × 1296 から設定できます。
画質の種類、録画時間 / 記録枚数の目安は、15 ページをご覧ください。

■ 録画ファイルの上書き設定

- イベント（衝撃）記録、手動録画、駐車録画で録画されたファイルの保存可能領域がなくなったときに、古いファイルから自動的に上書きされます。
- お買い上げ時は、上書きする「ON」に設定されています。
- 上書きしない設定に変更することもできます。設定については、接続しているモニターに表示して変更する場合は 41 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33 ページをご覧ください。

■ 録画時のマイクの音声を設定する

- 録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。設定については接続しているモニターに表示して変更する場合は 41 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33 ページをご覧ください。
- 本機の「POWER」ボタンを押しても設定を切り替えられます。本機で変更する場合は 11 ページをご覧ください。

ビューアソフトについて

ビューアソフトは、本機に付属の microSD カードの中に保存されています。
インストールについては 23 ページの「インストールする」をご覧ください。

ご注意



装備品（サンバイザーやルームミラー）を動かす際に、車種によっては本機に干渉する場合があります。強い力がかからないよう、ご注意ください。

目次

ドライブレコーダー機能ガイド2	ビューアソフトを使う24
録画機能について2	準備24
その他の録画機能3	ビューアソフトのインストーラー をダウンロードする24
録画ファイルの再生方法について ...3	画面の操作24
本機の設定をする4	Google Earth プロで使用する データを出力して読み込む29
ビューアソフトについて4	microSD カードのデータを パソコンにバックアップする30
安全に正しくお使いいただくために...6	バックアップした映像を見る31
使用上のご注意.....8	ビューアソフトで本体の設定を 変更する32
本機で使用する SD カードについて...10	本体設定を変更する32
本機のお手入れ10	ビューアソフトで本体の設定を 初期化する35
本機の異常にお気づきのときは ...10	本体設定を初期化する35
各部の名称とはたらき11	モニター表示して再生 / 設定する...36
LED/ 報知音による通知.....12	モニターに表示してファイルを再生する...36
本機の日付と時刻について13	再生画面の見かた37
電源をオン / オフする13	録画画面の見かた37
電源をオンにする13	ファイルを保護または削除する38
電源をオフにする13	モニターにメニューを表示して 設定を変更する40
本機の電源のみオフにする13	設定 MENU(メニュー)一覧41
本機のバックアップ電源について 13	microSD カードをフォーマットする ...43
microSD カードを入れる	専用サイトにアクセスして フォーマットする43
/ 取り出す14	モニターにメニューを表示して フォーマットする44
録画する15	システムを更新する45
画質の種類15	専用サイトにアクセスして システムを更新する45
録画時間 / 記録枚数の目安15	故障かなと思ったら46
電源オン時の録画と記録16	主な仕様50
常時録画16	ソフトウェアについて51
手動録画17	保証とアフターサービス54
イベント (衝撃) 記録18	
静止画記録19	
電源オフ時の録画20	
駐車録画モード20	
フォルダ / ファイル構成22	
ビューアソフトで再生 / 設定する ...23	
DRIVE REVIEWER の動作環境...23	
インストールする23	

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

警告

- **本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因になります。DC12V ⊖アース車以外で使用しないでください。
- **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。
- **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **運転中は走行中に操作したり、表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、本機やカメラに触れない**
落雷による感電の原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取付と配線をしない**
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、お買い上げの販売店に作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。
- **前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けをしない**
交通事故やケガの原因になります。
- **取り付けには保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない**
交通事故やケガの原因となります。
- **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は必ずお買い上げの販売店に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。
- **異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
- **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。

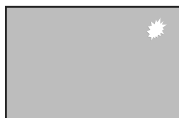
- **機器の通風口や放熱板をふさがない**
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- **microSD カード挿入口に手や指を入れない**
ケガの原因となります。
- **microSD カードは、お子様に触れさせない**
誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。
- **危険な運転はしない**
本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意

- 車検証シールを貼り替えるときは、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とすなどはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- 本機は直射日光が当たると高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機の固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。本機の固定具が外れた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
- 本機の取付場所の変更は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付配線は、ケガの原因となります。
- 作業前はバッテリーの⊖端子を外してください。⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を録画/記録することを保証したものではありません。

使用上のご注意

- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物が実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- コードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）の発生や、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



（※）ブルーミング現象：高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生することです。

- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合などは、衝撃の検知による映像の記録ができないことがあります。
 - 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - 本機が適切に固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合
- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号の状態が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 夜間にナビの画面や、昼間に太陽光を反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

- 車両のバッテリーを外すと本機の時計が正しく表示されないことがあります。GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になります。バッテリーを脱着した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- 使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、故障ではありません。使用温度範囲を超えた環境での使用は、故障の原因となりますので使用温度範囲内で使用ください。
- 販売店にて、車両のメンテナンス、修理をさせていただく際、お客様の録画データを保護するため、本機の録画を停止させていただく場合があります。
- microSD カードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD カードの抜き挿しを行うと、microSD カードが破損するおそれがあります。
- microSD カードのデータへのアクセス中（LED が点灯中）は、絶対に microSD カードを抜かないでください。microSD カードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。
 - 本機に microSD カードを挿入していない場合
 - microSD カードの破損、故障、寿命等で正常な記録や読み出しができない場合
 - 本機から microSD カードを抜いた場合
 - 本機に付属または純正の microSD カード以外を使用した場合
 - 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
 - 事故や水没などで本機および microSD カードが損傷を受けた場合
 - 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合
 - 上書き保存ができない場合
- microSD カードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD カードの記録がいっぱいになると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のイグニッションキーをオフ（ACC をオフ）にし、microSD カードを抜いて必要なデータをパソコンに保存してください。
- 映像や画像が正しく記録されているか定期的にファイルを再生して、確認してください。

本機で使用する SD カードについて

- 本機に付属または純正の microSD カードを使用してください。付属品または純正品以外では正しく動作しないことがあります。
- microSD カードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- microSD カードのフォーマットは 43 ページの「microSD カードをフォーマットする」の操作にしたがってフォーマットを行ってください。他の方法でフォーマットを行うと本機で使用できない、または、映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機とパソコン以外で本機に付属または純正の microSD カードを使用しないでください。他の機器で使用すると本機で正しく使用できなくなる可能性があります。
- microSD カードには寿命があります。データの書き込みやファイルの再生などができなくなるため、大切なデータはパソコンにコピーするなどのバックアップを行ってください。
- 純正の microSD カードは、販売店で買い求めください。

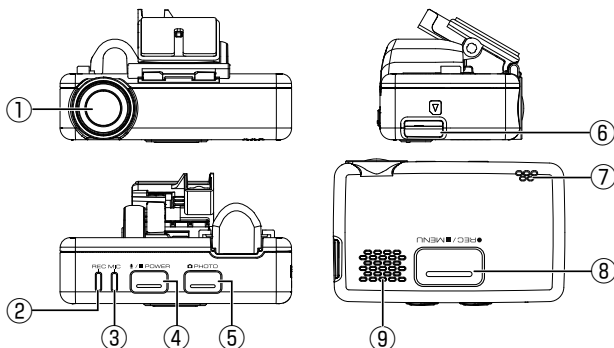
本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、キズが付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず 46 ページの「故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店にてご確認ください。

各部の名称とはたらき



① カメラレンズ

② REC LED

録画中に点灯（青色）します。

③ MIC LED

音声記録 ON 設定時に点灯（緑色）します。

④ POWER ボタン

- 押すたびに音声記録をする / しないを設定します。
- 本機がオフ中に1秒以上押し続けると電源をオンします。本機がオン中に1秒以上押し続けると電源をオフします。

⑤ PHOTO ボタン

- 静止画を撮影します。
- 1秒以上押し続けると自動静止画連続撮影機能をオンにします。

⑥ microSD カード挿入口

⑦ マイク

録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

⑧ REC/MENU ボタン

- 押すと手動で録画します。
- 3秒以上押し続けると設定メニューを表示します。メニュー表示中は録画を停止します。

ファイル再生中：

- 再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。
- 1秒以上押し続けると再生メニューを表示します。
- 3秒以上押し続けると録画に戻ります。
- 3分以上放置し続けると録画に戻ります。

メニュー表示中：

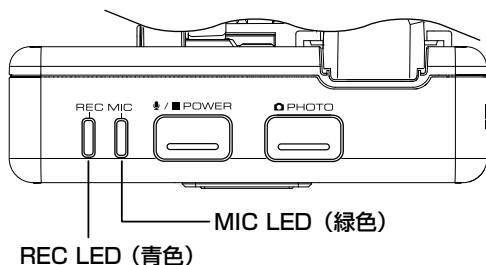
- 項目を決定します。
- 3秒以上押し続けると録画に戻ります。
- 30秒以上放置し続けると録画に戻ります。

⑨ スピーカー

音声ガイドや報知音を出力します。

LED/報知音による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。



■ 通常通知 / 駐車録画

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
メニューカーソル送り	ブツ	—	—
メニュー項目決定	ピボン (↑)	—	—
メニュー項目戻り / 解除	ピボン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダダダ	—	—
自動静止画撮影開始	ピピコン (↑)	—	—
自動静止画撮影停止	ピピコン (↓)	—	—
音声記録 ON	ブツ	—	点灯
音声記録 OFF	ブツ	—	消灯

■ 音声通知

音声ガイダンス	状態
駐車録画があります	駐車録画モード中に録画が実施された。

お知らせ

エラー通知については 47 ページをご覧ください。

本機の日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画、静止画のファイル名として反映されます。(→ P.22)
日付と時刻は GPS を受信すると、自動で設定されます。

お知らせ

- 購入後、初めて本機の電源を入れたときや車のバッテリーを外したときは GPS を受信するまでは、日付と時刻は正しく表示されません。
- 長時間 GPS を受信できないと時刻にずれが生じることがあります。

電源をオン / オフする

電源をオンにする

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、REC LED（青色）が点灯し、常時録画（連続録画）が始まります。

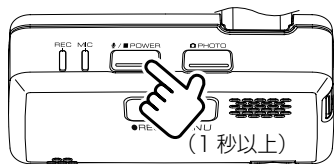
電源をオフにする

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると本機の電源がオフになり、駐車録画モードになります。

本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源を手動でオフにすることができます。また本機の電源を手動でオフにすると、駐車録画モードはオフになります。次に車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると本機の電源もオンになります。

- 1 車両のイグニッションキーが「ACC」または「ON」のときに「POWER」ボタンを 1 秒以上押し続ける



■ 手動で電源をオンするには

- 1 「POWER」ボタンを 1 秒以上押し続ける
電源がオンになると常時録画を開始します。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

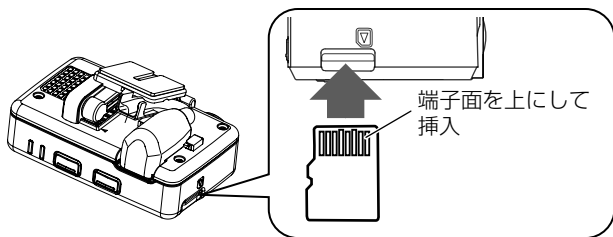
microSD カードを入れる / 取り出す

お知らせ

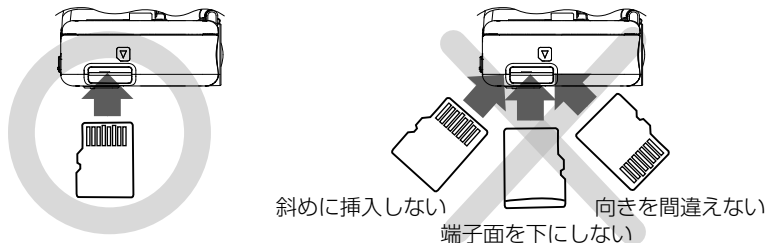
- microSD カードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LED が消灯）になっていることを確認してください。
- microSD カードへアクセス中（LED が点灯）は microSD カードを取り出さないでください。
- microSD カードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- microSD カードを挿入しないと、本機は動作しません。microSD カードの入れ忘れにご注意ください。

■ microSD カードを入れる

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 付属の microSD カードの端子面を上にして挿入する



microSD カード挿入時のご注意



■ microSD カードを取り出す

- 1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする
- 2 microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出たら引き抜く

録画する

本機の録画は、電源オン時に常時録画、手動録画、イベント（衝撃）記録、静止画記録、自動静止画連続撮影です。電源オフ時には駐車録画モードがあります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画は停止します。
 - 本機のメニューを表示しているとき
 - microSD カードが挿入されていないとき
 - ファイルの上書き設定が「OFF」に設定されていて、最大保存できるファイル数や時間が最大になったとき

画質の種類

本機は録画または記録するときの画質を設定することができます。

各録画または記録で共通設定になります。

個別に設定することはできません。

■ 画質の種類（解像度）

解像度は3種類（2304x1296/1920x1080/1280x720）になります。

- お買い上げ時は「1920x1080」に設定されています。
- 設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は42ページ、ビューアソフトで変更する場合は33ページの「解像度」をご覧ください。
- 静止画は、解像度の設定と同じ画質で保存されます。

録画時間 / 記録枚数の目安

付属の microSD カード 16GB 使用

撮影モード	録画画質 / 解像度		
	2304x1296	1920x1080	1280x720
常時録画	最大 100 分	最大 140 分	最大 200 分
手動録画	最大 20 件		
イベント（衝撃）記録	最大 10 件		
駐車録画	最大 40 件		
静止画記録	最大 200 枚		

お知らせ

- 録画時間と記録枚数は、microSD カードに保存されているファイルにより異なります。
- 大切なデータはすぐにパソコンなどへバックアップを行ってください。

電源オン時の録画と記録

- 録画の解像度はそれぞれの録画や記録で共通です。設定メニューの「解像度」の設定をご覧ください。(33 ページまたは 42 ページ)
- 必要に応じて、録画ファイルはパソコンに保存し不要なデータは削除してください。

常時録画

本機の電源をオンにすると、常時録画を開始します。常時録画の最大録画時間は、解像度の設定によります。

お買い上げ時は「1920 x 1080」に設定されています。

- 常時録画のお買い上げ時の1ファイルごとの録画時間は1分間です。
- 録画時間は変更することができます。
設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は41 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33 ページの「常時録画ファイル長 1分/2分/3分」をご覧ください。



お知らせ

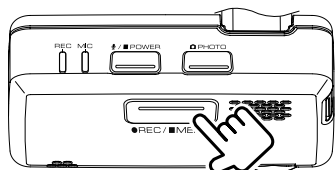
- 常時録画ファイルは保護できません。
- microSD カードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。必要なデータは、本機の電源をオフにして microSD カードを抜いて、データをパソコンに保存してください。

■ 録画ファイルの保存場所

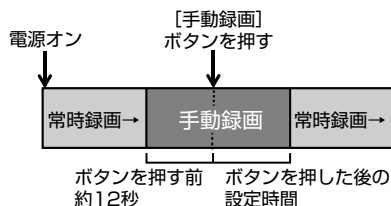
microSD カード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。(→ P.22)

手動録画

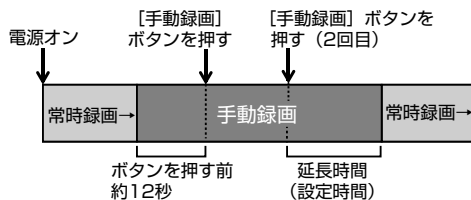
常時録画中に本機の「REC/MENU」ボタンを押すと、常時録画を中断して、手動録画を開始します。



- 手動録画のお買い上げ時の録画時間は、「REC/MENU」ボタンを押す前の 12 秒と押した後の 15 秒で 27 秒です。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
- 録画時間は変更することができます。設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は 41 ページ、ビューアースoftで変更する場合は、33 ページの「手動録画時間 15 秒 / 30 秒 / 1 分」をご覧ください。



- 手動録画が終了する前にもう一度「REC/MENU」ボタンを押すと、そこから手動録画が手動録画時間で設定された時間分延長されます。
- 1 ファイルに録画される延長時間は最大約 60 秒です。約 60 秒を超える場合は、次のファイルとして録画されます。



お知らせ

- ・ 手動録画は最大 20 ファイルまで保存されます。
- ・ 20 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定 (手動)」を「OFF」に設定しているときは上書きされず、その場合、最大 20 ファイルを超えると録画されません。

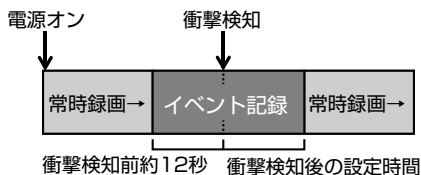
■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。(→ P.22)

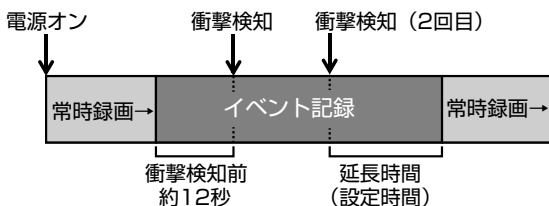
イベント（衝撃）記録

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録を開始します。

- イベント（衝撃）記録のお買い上げ時の記録時間は、衝撃検知前の 12 秒と衝撃検知後の 15 秒で 27 秒です。イベント（衝撃）記録が終了すると常時録画に戻ります。
- イベント（衝撃）記録時間は変更することができます。設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は 41 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33 ページの「イベント記録時間 15 秒 / 30 秒 / 1 分」をご覧ください。



- イベント（衝撃）記録が終了する前にさらに衝撃を検知と、そこからイベント（衝撃）記録が「イベント記録時間」で設定された時間分延長されます。
- 1 ファイルに記録される延長時間は最大約 60 秒です。約 60 秒を超える場合は、次のファイルとして記録されます。



お知らせ

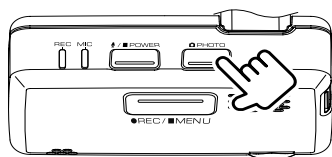
- イベント（衝撃）記録モードは最大 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定（イベント）」を「OFF」に設定しているときは上書きされず、その場合、最大 10 ファイルを超えると記録されません。

録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「EVENT」フォルダに保存されます。(→ P.22)

静止画記録

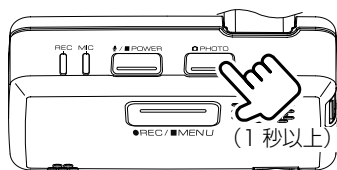
常時録画中に本機の「PHOTO」ボタンを押すと、静止画が記録されます。



- 静止画は最大 200 枚まで保存されます。

■ 自動静止画連続撮影

本機の「PHOTO」ボタンを 1 秒以上押し続けると、自動静止画連続撮影機能がオンになります。



- お買い上げ時は 5 分間隔で 30 枚の静止画を自動的に撮影します。設定されている枚数が撮影されると、自動静止画連続撮影機能はオフになります。
- 撮影枚数または撮影間隔は変更することができます。設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は 42 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、34 ページの「自動静止画連続撮影」の「撮影間隔 1 分 / 5 分 / 15 分 / 30 分」と「撮影枚数 10 枚 / 30 枚 / 50 枚」をご覧ください。

お知らせ

- 200 枚を超えると古い日時のファイルから順に上書きされます。
- 録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。
- 下記の場合、自動静止画連続撮影機能がオフになります。
 - 本機の電源をオフにした場合
 - ドライブレコーダー設定画面を表示した場合
 - 録画ファイルリスト画面を表示した場合
 - 本機の microSD カードが取り出された場合
 - 本機の「PHOTO」ボタンを 1 秒以上押し続けた場合（自動静止画連続撮影機能 ON 時）

■ 静止画 / 自動静止画連続撮影ファイルの保存場所

microSD カード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.22)

電源オフ時の録画

本機の電源がオフになると駐車録画モードを開始します。

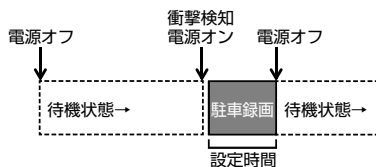
お知らせ

- 車両のイグニッションキーをオフにする前に、本機の電源ボタンで本機の電源をオフにしたとき (→ P.13) は、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。

駐車録画モード

駐車録画モードは駐車中に本機に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり駐車録画が開始されます。

- 駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画がはじまります。
- 駐車録画モードのお買い上げ時の録画時間は、10秒です。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。
- 駐車録画時間は変更することができます。設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は41ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33ページの「録画時間 10秒/20秒/30秒」をご覧ください。
- お買い上げ時の感度設定は「3」に設定されています。衝撃を検知する感度を変更することができます。設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は41ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33ページをご覧ください。



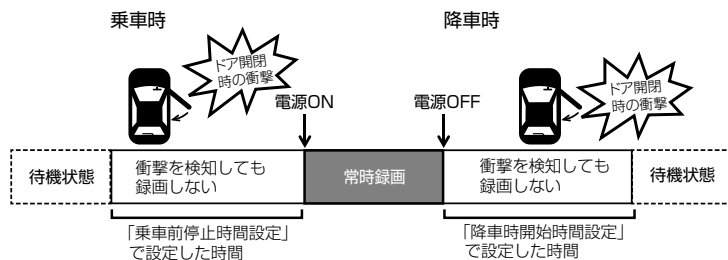
お知らせ

- 駐車録画モードは最大 40 ファイルまで保存されます。40 ファイルを超えると古いファイルから順に上書きされますが、「上書き設定」を「OFF」に設定しているときは古いファイルは上書きされません。ただし、最大 40 ファイルを超えると録画されません。
- 駐車録画モードで録画された場合、電源をオンにしたときに音声と画面表示でお知らせします。(「駐車録画発生のお知らせ」が ON に設定している場合)
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画モードが動作することがあります。

■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

駐車録画モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、駐車録画モードを行わないようにするため、駐車録画モードを一定時間無効にすることができます。

- お買い上げ時は乗車 / 降車時ともに無効時間は「30 秒」に設定されています。
- 設定を変更したいときは、モニターに表示して変更する場合は 41 ページ、ビューアソフトで変更する場合は、33 ページをご覧ください。



■ 録画ファイルの保存場所

microSD カード内の「PARKING」フォルダに保存されます。(→ P.22)

ビューアーソフトで再生 / 設定する

DRIVE REVIEWER は、本機で記録した映像と音声を再生する、設定を変更するためのパソコン用の専用ビューアーソフトです。また、本機の設定やデータのバックアップなども行います。

インストーラーは本機に付属の microSD カードに保存されています。

DRIVE REVIEWER の動作環境

OS	Windows 7 Service Pack 1 (32Bit/64Bit) Windows 8.1 (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit)、Windows 10 mobile は除く
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google Earth は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

お知らせ

- ・ご使用のパソコンによっては、再生時に映像の乱れや遅れ、音声の音途切れなどが発生する場合があります。

インストールする

- 1 microSD カードを本機から取り外し (→ P.14)、付属の SD カード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコン に接続する
- 2 インストーラー「Setup_A1-XX.msi」をパソコン内の任意の場所 (デスクトップなど) にコピーする
- 3 コピーした「Setup_A1-XX.msi」をダブルクリックする
- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める

お知らせ

ユーザーアカウント制御の警告が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 5 「完了」をクリックする
インストールが完了します。


ビューアソフトを使う

準備

- 1 microSD カードを本機から取り外し (→ P.14)、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダーを使用してパソコンに接続する
- 2 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「DRIVE REVIEWER A1」 - 「DRIVE REVIEWER A1」をクリックして起動する
「DRIVE REVIEWER」画面が表示されます。

お知らせ

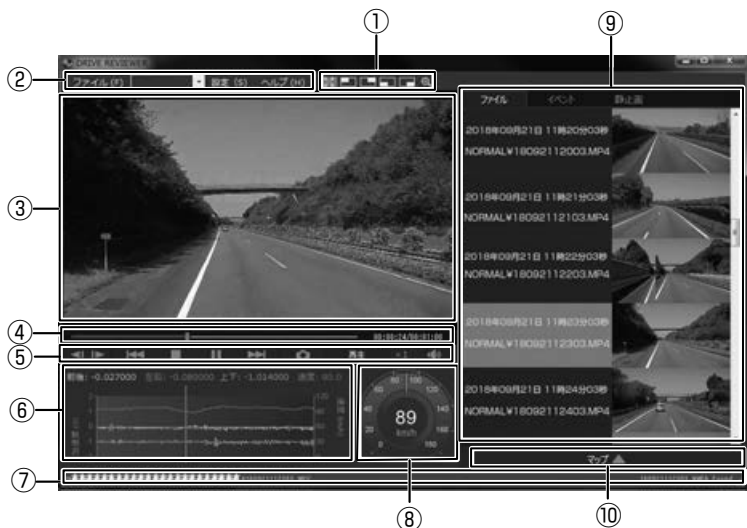
- DRIVE REVIEWER を使用するときには他のアプリケーションは閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

- 3 ②メニューの「 (ドライブ一覧)」を開き、ドライブを選択する

ビューアソフトのインストーラーをダウンロードする




付属の microSD カードに保存されているビューアソフトのインストーラーを microSD カードのフォーマットで消去してしまったときなどは、<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスして、車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択してください。インストーラーをダウンロードすることができます。

画面の操作



① 拡大表示機能

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

ボタン	説明
	拡大表示したときに押すと、通常画面に戻ります。
	画面左上、右上、左下、右下を拡大（2倍）表示します。
	表示される枠 ① を拡大したい位置に動かして、拡大率 ② をクリックするたびに1倍 / 2倍 / 3倍 / 4倍 / 5倍で拡大表示します。 [リセット] ③ を押すと等倍（1倍）で表示します。

② メニュー

ファイル

開く	フォルダを選択する	読み込むファイルが入っているフォルダを選択します。
	kmz/kml* にエクスポート	Google Earth に読み込むためのデータを出力します。
	バックアップ	データをバックアップするフォルダを選択します。
終了	ビューアソフトを終了します。	

*kmz ファイルまたは kml ファイルは Google Earth に読み込むためのデータです。

 (ドライブ一覧)

microSD カードのドライブを選択します。

設定

本体設定	microSD カードに設定ファイルを書き込みます。
------	----------------------------

ヘルプ

バージョン	ビューアソフトのバージョンが確認できます。
-------	-----------------------

③ 映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④トラックバー / 再生時間



動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

00:00:12/00:02:00

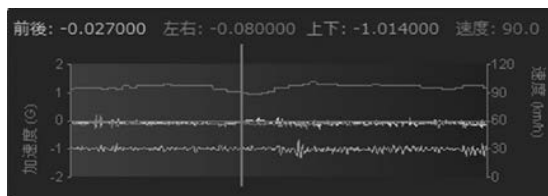
再生時間 / 総再生時間

⑤再生操作ボタン

ボタン	説明
	前 / 次のファイルを再生します。
	前 / 次のコマを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	クリックすると再生中の動画を静止画として保存します。
	クリックするたびに x1 · x2 · x4 · x8 · x1/2 と再生速度が切り替わります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

⑥グラフ

再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさと速度の折れ線グラフです。



⑦再生中のファイルのパス

再生中のファイルの格納場所を表示しています。

⑧スピードメーター

再生している動画ファイルの車両速度を表示します。



お知らせ

- 録画中にトンネルを走行しているときなど GPS が受信できない状態が約 15 秒続くと車両速度の表示は 0 (ゼロ) になります。
- 表示している車両速度はあくまで目安です。

⑨種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生が開始されます。



「ファイル」、「静止画」の場合：

記録開始日時 / ファイルの格納場所

「イベント」の場合：

記録開始日時 / イベント名

「静止画」の場合： ファイルの先頭位置の映像

①ファイル：すべての動画ファイルの一覧を表示します。

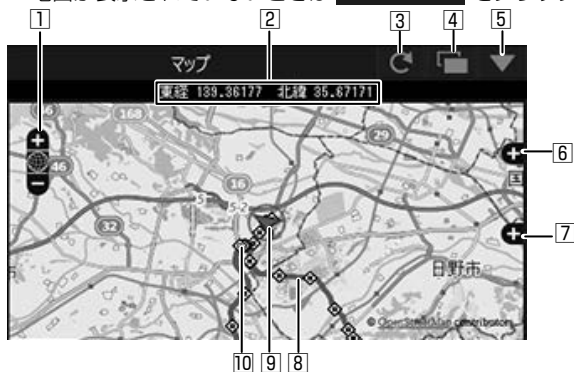
②イベント：手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画のファイルの一覧を表示します。

③静止画：静止画ファイルの一覧を表示します。

⑩ 地図表示ボタン

⑨の見たファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **マップ ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大 / 縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **マップ ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域の地図で表示します。
- ⑧ 経路
2日以上経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
青	赤	緑	白	桃色	水色	黄色

- ⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

- ⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

- microSD カードの容量制限や「上書き設定」などでファイルが消去された部分については地図上に表示されません。
- 起動直後やビル街、トンネル、高架下などの受信環境が悪い場所での走行やGPS衛星の状態によっては、GPSの情報が正常に受信できずに、地図上での自転車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

Google Earth プロで使用するデータを出力して読み込む

お知らせ

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth プロ（パソコン向け）をインストールしてください。Google Earth プロは、Google のサイトからダウンロードできます。

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 4 microSD カードの Google Earth プロで使用するデータを出力するデータのフォルダを選ぶ



- 5 メニューの「ファイル」－「kmz/kml にエクスポート」をクリックする



- 6 保存先を選択し、保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



お知らせ

- kmz は kml ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth プロで読み込むことができます。

- 7 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする
- 8 Google Earth (Google Earth Pro) を起動する

9 出力したファイルをインポートする

10 読み込んだデータを表示する

画面左側に保留フォルダと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



フォルダのし点を外すと外したデータの表示が地図から消えます。

お知らせ

- Google Earth プロの操作については Google Earth プロのヘルプなどをご覧ください。

microSD カードのデータをパソコンにバックアップする

microSD カードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。microSD カード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどに定期的にバックアップしてください。ビューアソフトを使って microSD カードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付いたまま保存することができます。

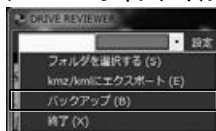
- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



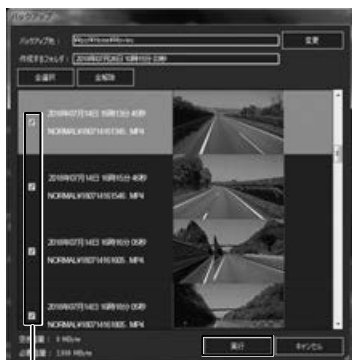
- 4 microSD カードのバックアップをするデータが入っているフォルダを選ぶ



5 メニューの「ファイル」－「バックアップ」をクリックする



6 バックアップするファイルにチェックを付けて「実行」をクリックする



お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての"レ"点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべてに"レ"点が付きます。
- バックアップデータのフォルダ名は手順5でバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダ」を書き替えることができます。
- 「変更」をクリックするとバックアップ先を変更することができます。

ファイル

最初はすべてのファイルに"レ"点が入っています。

バックアップしないデータは"レ"点をクリックして選択を解除してください。

7 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする

お知らせ

- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイ ビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

8 メッセージが表示されたら「OK」をクリックする

バックアップした映像を見る

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「ファイル」－「フォルダを選択する」をクリックする



- 3 バックアップしたデータのフォルダを選ぶ
- 4 見たい映像ファイルのフォルダを選択する

ビューアソフトで本体の設定を変更する

ビューアソフトで本体の設定を変更することができます。

設定変更後に microSD カードを本機に挿入し、電源をオンにすると、自動的に本体の設定を変更することができます。

本体設定を変更する

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして「本体設定」をクリックする



- 4 microSD カードを接続しているドライブを指定して「OK」をクリックする



設定画面が表示されます。

- 5 「本体設定」の各種設定を変更する（33 ページ～ 34 ページ）
- 6 「OK」をクリックする

変更された設定内容を microSD カードに保存します。

お知らせ

- microSD カードに設定データがない場合、またははじめてご使用になる場合は、「設定ファイルが読み込めません」とメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。
- microSD カードに以前の設定が保存されている場合、または本機のメニューで設定を変更した場合は、以前の設定が設定画面に表示されます。

- 7 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする
- 8 メッセージが表示されたら「OK」をクリックする

■ 駐車録画の設定をする

「駐車録画設定」をクリックする

*: お買い上げ時の設定

項目	設定	説明
録画時間	OFF/10秒* /20秒/30秒	衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
上書き保存	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。
感度設定	1/2/3*/4/5	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
駐車録画開始時間 設定 (降車時)	OFF/30秒後* /1分後/3分後	エンジン停止から衝撃検出を開始するまでの時間を設定します。
駐車録画停止時間 設定 (乗車時)	OFF/30秒前* /1分前/3分前	指定時間からエンジンスタートまでの間に記録された駐車録画を自動で削除します。
駐車録画発生のお知らせ	OFF/ON*	駐車時に駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに音声と画面に表示してお知らせします。「OFF」に設定するとお知らせしません。

■ 動画記録の設定をする

「動画記録設定」をクリックする

項目	設定	説明
音声記録	OFF/ON*	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
常時録画 ファイル長	1分*/2分 /3分	常時録画モードで1ファイルに記録する時間を設定します。常時録画モードの録画ファイルは、設定時間ごとに保存されます。
手動録画時間	15秒*/30秒 /1分	手動録画でボタンを押した後の録画時間を設定します。
イベント記録時間	15秒*/30秒 /1分	イベント (衝撃) 記録モードで衝撃を検知後の記録時間を設定します。
上書き保存 (手動)	OFF/ON*	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。
上書き保存 (イベント)	OFF/ON*	記録ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。
解像度	2304×1296 /1920×1080* /1280×720	常時録画モード、イベント (衝撃) 記録モード、手動録画モード、駐車録画モードの画質を設定します。(個別に画質の設定はできません。)[HDR記録]が「ON」のときは「2304×1296」に設定できません。

項目	設定	説明
HDR 記録	OFF/ON*	ON に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。「解像度」が「2304 × 1296」のときは「ON」に設定できません。
感度設定	1/2/3*/4/5	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)

■ 静止画記録の設定をする

「静止画記録設定」をクリックする

項目	設定	説明
自動静止画連続撮影の撮影間隔	1 分 / 5 分 * / 15 分 / 30 分	自動静止画撮影機能で撮影する間隔を設定します。 (→ P.19)
自動静止画連続撮影の撮影枚数	10 枚 / 30 枚 * / 50 枚	自動静止画撮影機能で撮影する枚数を設定します。 (→ P.19)

■ システムの設定をする

「システム設定」をクリックする

項目	設定	説明
通知音量	OFF/1 ~ 3 (お買い上げ時は 2 です。)	報知音と音声ガイドンスの音量を設定します。
再生音量	OFF/1 ~ 10 (お買い上げ時は 5 です。)	動画再生の音量を設定します。

ビューアソフトで本体の設定を初期化する

ビューアソフトで本体の設定を初期化することができます。

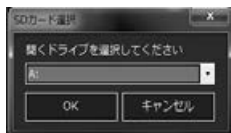
初期化後に microSD カードを本機に挿入し、電源をオンにすると、自動的に本体の設定を初期化することができます。

本体設定を初期化する

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 ビューアソフトを起動する
- 3 メニューの「設定」をクリックして「本体設定」をクリックする

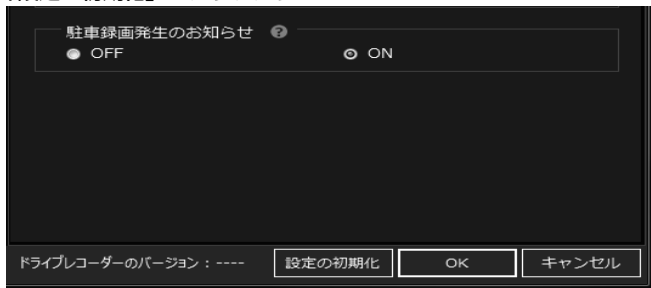


- 4 microSD カードを接続しているドライブを指定して「OK」をクリックする



設定画面が表示されます。

- 5 「設定の初期化」をクリックする



- 6 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする
「駐車録画設定」、「動画記録設定」、「静止画記録設定」、「システム設定」の設定がすべてお買い上げ時の設定に戻ります。
- 7 「OK」をクリックする
初期化された設定内容を microSD カードに保存します。
- 8 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする
- 9 メッセージが表示されたら「OK」をクリックする

モニター表示して再生 / 設定する

モニターに表示して本機で映像を再生する、または設定を変更することができます。またファイルの保護や削除なども行えます。

お知らせ

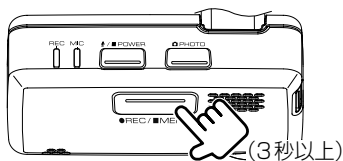
- 音声は本機のスピーカーから出力されます。
- ファイル再生中は録画を停止します。

モニターに表示してファイルを再生する

1 モニターに本機の画面を表示する

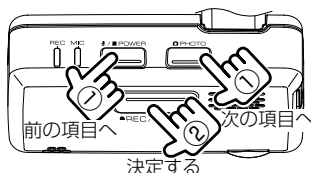


2 「REC/MENU」 ボタンを3秒以上押し続ける

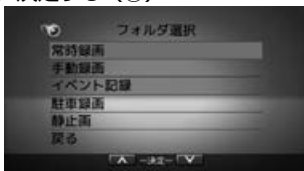
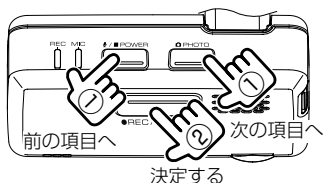


MENUが表示されます。

3 「ファイル再生」を選んで①決定する②

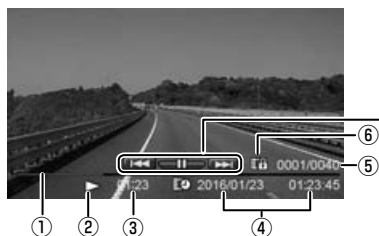


4 再生したいフォルダを選んで①決定する②



ファイル選択画面に切り替わり、再生したいファイルを選択します。

再生画面の見かた



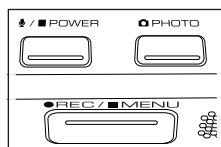
- ① プログレスバー
- ② 再生状態アイコン
- ③ 経過時間
- ④ 再生ファイルの年月日 時分秒
- ⑤ ファイル番号 / 総ファイル数
- ⑥ 保護されているファイル

操作ガイド

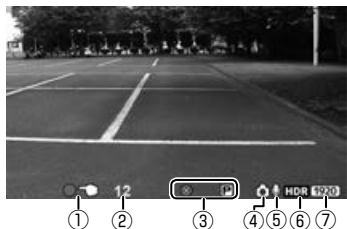
本機のボタンを押したときの動作を表示しています。



実際の操作ボタン位置



録画面の見かた



- ① 録画アイコン
 - : 手動録画
 - : イベント（衝撃）記録
 - : 常時録画
 - : 録画停止中
- ② 録画時間残り秒数
イベント（衝撃）記録、手動録画時のみ表示されます。

- ③ エラーアイコン
 - : 手動録画ができません。
 - : イベント（衝撃）記録ができません。
 - : 駐車録画ができません。
- ④ : 自動静止画連続撮影が ON のときに表示されます。
 : 静止画を撮影したときに表示されます。
- ⑤ 音声記録
 - : 音声 ON/ : 音声 OFF
- ⑥ 「HDR 記録」を「ON」に設定しているときに表示されます。
- ⑦ 録画画質（解像度）
 - 2304** : 2304 x 1296
 - 1920** : 1920 x 1080
 - 1280** : 1280 x 720

ファイルを保護または削除する

録画ファイルまたは静止画ファイルを保護、解除または、削除することができます。

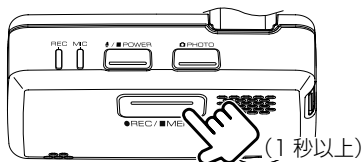
お知らせ

- MENU 表示中は録画を停止します。
- 常時録画ファイルは保護できません。

1 保護または削除したいファイルを再生する (→ P.36)



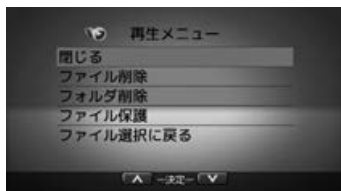
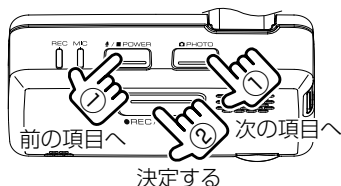
2 「REC/MENU」 ボタンを 1 秒以上押し続ける



再生メニューが表示されます。



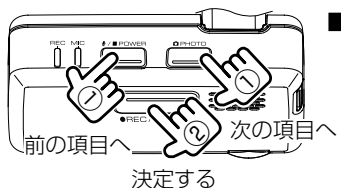
3 メニューの項目を選んで (①) 決定する (②)



閉じる	再生メニューを閉じます。
ファイル削除	再生中のファイルを削除します。
フォルダ削除	再生中のファイルを含むフォルダ内にある全てのファイルを削除します。
ファイル保護 / ファイル保護解除	上書きや削除できないようにファイルを保護します。 / 保護したファイルを解除します。
ファイル選択に戻る	ファイル選択画面を表示します。

「ファイル削除 / フォルダ削除 / ファイル保護」を選択したときは、確認メッセージが表示されます。

4 「OK」を選んで (①) 決定する (②)

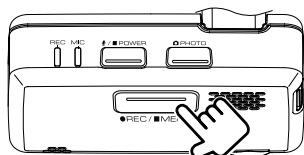


■ 確認メッセージ

- ファイル削除：このファイルを削除しますか？
- フォルダ削除：このフォルダを削除しますか？
- ファイル保護：このファイルを保護しますか？
- ファイル保護解除：
ファイルの保護を解除しますか？

確認メッセージが表示されます。

5 「REC/MENU」 ボタンを押す



■ 確認メッセージ

- ファイル削除：ファイルを削除しました
- フォルダ削除：フォルダを削除しました
- ファイル保護：ファイルを保護しました
- ファイル保護解除：保護を解除しました

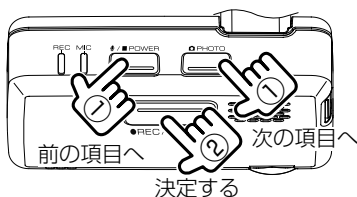
モニターにメニューを表示して設定を変更する

1 モニターに本機の画面を表示する



2 「REC/MENU」 ボタンを 3 秒以上押し続ける MENU が表示されます。

3 メニューの項目を選んで ① 決定する ②



4 手順 3 を繰り返して各項目を設定する

お知らせ

- 「戻る」を選択すると一つ前の画面に戻ります。
- MENU 表示中は録画を停止します。

設定 MENU(メニュー) 一覧

*: お買い上げ時の設定

ファイル再生 / フォルダ選択		
常時録画	リスト画面から目的のフォルダを選択してファイルを再生します。(→ P.36) また、ファイル再生中には、ファイルの保護や削除も行えます。(→ P.38)	
手動録画		
イベント記録		
駐車録画		
静止画		
駐車録画設定		
録画時間	OFF/10 秒 * /20 秒 /30 秒	衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
上書き保存	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。
感度設定	1 (低) /2 /3 (中) */4 /5 (高)	駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)
降車時開始時間設定	OFF/30 秒後 * /1 分後 /3 分後	エンジン停止から衝撃検出を開始するまでの時間を設定します。
乗車前停止時間設定	OFF/30 秒前 * /1 分前 /3 分前	指定時間からエンジンスタートまでの間に記録された駐車録画を自動で削除します。
動画・静止画記録設定		
音声記録	ON*/OFF	録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
常時録画 ファイル長	1 分 */2 分 /3 分	常時録画モードで 1 ファイルに記録する時間を設定します。常時録画モードの録画ファイルは、設定時間ごとに保存されます。
手動録画時間	15 秒 */30 秒 /1 分	手動録画でボタンを押した後の記録時間を設定します。
イベント記録時間	15 秒 */30 秒 /1 分	イベント (衝撃) 記録モードで衝撃を検知後の記録時間を設定します。
上書き保存 (手動)	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。
上書き保存 (イベント)	ON*/OFF	録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルを上書きするかしないかを設定します。

動画・静止画記録設定			
解像度	2304×1296 /1920×1080* /1280×720	解像度を設定します。 録画モード別の設定はできません。	
HDR 記録	ON*/OFF	ON に設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑えて被写体を録画します。「解像度」が 2304 × 1296 のときは「HDR 記録」は選択できません(「OFF」固定となります)。	
感度設定	1 (低) /2 /3 (中) */4 /5 (高)	車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1 (大きな衝撃で検知します) ~ 3 (標準) ~ 5 (小さな衝撃で検知します)	
自動静止画連続撮影	撮影間隔	1 分 /5 分 * /15 分 /30 分	自動静止画連続撮影機能で撮影する間隔を設定します。 (→ P.19)
	撮影枚数	10 枚 /30 枚 * /50 枚	自動静止画連続撮影機能で撮影する枚数を設定します。 (→ P.19)
システム設定			
通知音量	OFF/1/2*/3	報知音と音声ガイダンスの音量を設定します。	
再生音量	OFF/1 ~ 10 お買い上げ時： 5*	再生音量を設定します。	
出荷時設定	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。		
システムバージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。		
SD カード初期化	全てのファイルを消去し、SD カードをフォーマットします。 (→ P.43)		
閉じる	メニューを閉じます。		

microSD カードをフォーマットする

映像の再生やファイルのバックアップなどでエラーが表示される場合は、microSD カードのデータが破損している可能性がありますので、microSD カードをフォーマットしてください。

フォーマットの方法は、専用サイトにアクセスしてフォーマットする、または本機が接続しているモニターに設定メニューを表示してフォーマットする方法があります。

お知らせ

- 基本的に microSD カードのフォーマットは必要ありません。microSD カードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本機が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- パソコンに標準の SD カードフォーマットは使用しないでください。
- microSD カードをフォーマットすると、microSD カードのビューアソフトのインストーラーおよび保護されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。ビューアソフトをパソコンにインストールしていない場合は、先にビューアソフトをパソコンにインストールしてください。また、必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

専用サイトにアクセスしてフォーマットする

- 1 microSD カードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
 - (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、
専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> にアクセスします。
 - (2) 車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択してください。
 - (3) 「SD メモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
 - (4) 記述されている手順に従って、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 3 SD メモリーカードフォーマットソフトウェアでフォーマットする

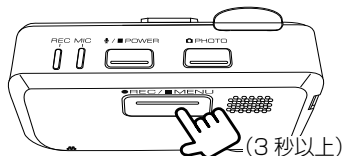
モニターにメニューを表示してフォーマットする

モニターに本機のメニューを表示できる場合は、本機のメニューから microSD カードをフォーマットすることができます。

1 モニターに本機の画面を表示する

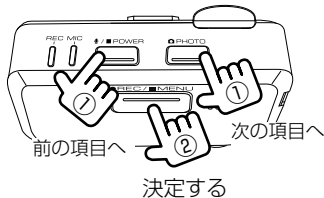


2 「REC/MENU」 ボタンを 3 秒以上押し続ける



MENU が表示されます。

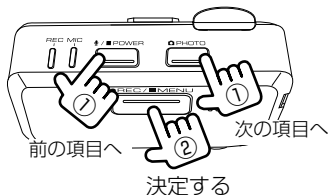
3 「SD カード初期化」を選んで (①) 決定する (②)



メッセージが表示されます。



4 メッセージが表示されたら「OK」を選んで (①) 決定する (②)



フォーマットが完了すると「初期化しました」と表示されます。



5 「OK」を選んで (①) 決定する (②)

決定すると常時録画を開始します。

システムを更新する

本機のシステムファームウェアを更新します。

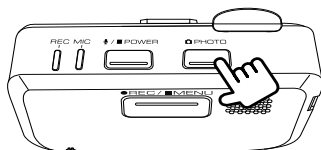
アップデートに関する情報は、専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop> をご覧ください。

お知らせ

- 本機のバージョンが最新のアップデートファイルと同じバージョンの場合はメモリーカードを挿入してもアップデートは開始しません。

専用サイトにアクセスしてシステムを更新する

- 1 microSD カードをフォーマットする
フォーマットについては 43 ページの「microSD カードをフォーマットする」をご覧ください。
- 2 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop> にアクセスして車両メーカー名からお使いのドライブレコーダーの型番を選択してください。
- 3 アップデートファイル「update.bin」を microSD カードのルートフォルダーにコピーする
- 4 microSD カードを本機に挿入する
- 5 本機の【Photo】ボタンを押しながら車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にする



しばらく押したままにしていると記録 LED(青)が点滅しアップデートを開始します。アップデートが完了すると記録 LED(青)が消灯し、本機が自動で再起動します。

故障かなと思ったら

■ 本体

症状	原因 / 対処
記録した音声小さい。	本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助としての周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機の内蔵マイク（集音部）が覆われているようなことがないか、ご確認ください。
車両の電源を入れてもLEDが点灯しない、または電源が入らない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
ナビゲーションで録画された映像を見ることはできますか。	ナビゲーションでの再生は、MP4の再生機能があるものに限ります。ご使用のナビゲーションの仕様をご確認ください。またナビゲーションの仕様によっては、再生できない場合もあります。
録画や再生がうまくできない。	microSDカードのフォーマットを行ってください（→ P.43）。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
報知音の音量が小さい。	ビューアソフト（→ P.34）または設定メニュー（→ P.42）で音量を変更できます。
録画または記録したはずの映像がありません。	本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存されるため録画または記録したファイルが無くなることがあります。必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。 常時録画以外は上書き保存しないように設定することもできますが、「上書き保存」の設定を「OFF」にしているときは、上限を超えると報知音（→ P.12）が鳴り、それ以上の記録または録画は開始されません。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されます。	走行中の車両の衝撃を検知する感度を設定する（→ P.42）ことができます。また、感度設定はビューアソフト（→ P.33）でも設定できます。
本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	使用温度範囲内での使用にて本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
信号の色が記録されないことがある。	映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。

症状	原因 / 対処
エンジンを切っても本機の電源が切れない。	駐車録画モードが動作しています。駐車録画設定の駐車時間を「OFF」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
本機が起動しません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
音声ガイダンスや報知音をオフにしたい。	ビューアソフト (→ P.34) または、設定メニュー (→ P.42) で通知音量を「OFF」に設定することでオフにできます。
microSD カードに、映像が記録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 本機に付属または純正の microSD カードを使用していない可能性があります。付属または純正の microSD カードを必ず使用してください。市販の microSD カードは使用できません。 microSD カードに異常がある可能性があります。 microSD カードのフォーマットを行ってください (→ P.43)。ただし、フォーマットをすると microSD カードのデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下げてください。保護機能が解除され録画ができるようになります。
記録時間が短く記録されています。	常時録画モード以外の映像が多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、microSD カードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、記録領域が狭くなるため記録時間が短くなります。
■ エラー通知 (音声) * 電源 (ACC) オン時にガイダンスをしてから 3 分後再度ガイダンスします。	
メッセージ	対処
*SD カードがありません。	microSD カードが入ってません。本機対応の SD カードを挿入してください。
*SD カードの初期化が必要です。	microSD カードの初期化が必要な状態です。microSD カードをフォーマットしてください。
*SD カードエラーです。	<ul style="list-style-type: none"> microSD カードが異常、または認識できない microSD カードを挿入しています。 録画、記録ファイルの最大件数または枚数を超えたファイルが microSD カードに保存されています。 本機に付属の microSD カードを挿入しても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
録画を中止しました。	本機の高温検知などの異常検出により録画を一時的に停止しました。温度が下がっても録画が再開されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
静止画記録ができませんでした。	もう一度静止画記録を行い、操作を受け付けられない場合は本機の電源を入れ直してください。

■ ビューアースフト (DRIVE REVIEWER)

質問事項	回答
ビューアースフトを消してしまった。	専用サイトからインストーラーをダウンロード (→ P.24) し、再度インストールしてください。
再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。	ファイルを読み込みなおしてください。それでも再生しないときはファイルが壊れている可能性があります。
イベント (衝撃) 記録モードで録画された動画を再生した場合に、再生時間が設定した時間より短いものがある。	電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、設定した時間より短い映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
記録した映像は、Windows Media Player等の汎用ソフトで見るとはできますか？	再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。
パソコンに microSD カードを挿入しても認識しません。	microSD カードが正しく挿入されていない可能性があります。再度 microSD カードやカードアダプターを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードアダプターから microSD カードを取り出して、挿しなおしてください。カードリーダーについてはカードリーダーに付属の説明書を参照してください。
ビューアースフトが起動しない。	ビューアースフトの動作環境をご確認ください。問題がない場合は、再度インストールしなおしてください。
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音声記録が「OFF」の設定 (→ P.34) または、(→ P.42) になっている可能性があります。また、ビューアースフトの音量設定またはパソコンの音量設定が最小になっていないかご確認ください。 設定を変更しても音が出ない場合は、本機の内蔵マイク (集音部) が覆われていないかご確認ください。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする。	ご使用中のパソコンが推奨する動作環境を満たしているかご確認ください (→ P.23)。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると再生や音声が途切れることがあります。
地図の自転車位置が実際とずれている。	トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。

質問事項	回答
速度が実際とずれている。	速度は GPS の情報から取得しており、トンネルや高架下、ビル街など走行する場所や、GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
スムーズに再生されない。	DRIVE REVIEWER の他にアプリケーションが起動している場合は、他のアプリケーションを閉じてください。
設定ファイルが読み込めません。	はじめてご使用になったときや、microSD カードをフォーマットしたときなど、microSD カードに本機の設定データがない場合に表示されます。本機の設定データは、本機に挿入したまま電源をオフにすると書き込まれます。microSD カードに設定データがあればビューアソフトで設定を変更することができるようになります。

主な仕様

■ 本体

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃
本体サイズ	W79.0 × H22.5 × D48.2 mm (マウントブラケット搭載時 H51.2mm)
質量	87g (ブラケット、ケーブル含まず)
電源電圧 (動作電圧範囲)	14V (8.5 ~ 16V)
最大消費電流	0.4A (電源電圧 14V 時)
G センサー	内蔵、最大 4.0G、0.1G 単位
GPS アンテナ	内蔵、GPS 受信、グロナス非対応
記録媒体	microSD メモリーカード (同梱 : 16GB)

■ 映像仕様

映像素子	1/3 型カラー CMOS
有効画素数	3M (センサー画素数 4M)
撮影画角	水平 117° × 垂直 63°
記録フレーム数	27fps
画像サイズ	2304 × 1296 1920 × 1080 1280 × 720
記録フォーマット	MP4(H.264+AAC)
HDR	ON/OFF

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

MD5 utility

```
/* crypto/md5/md5.h */
```

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
(eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation
written

by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to
conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-
commercial use as long as the following
conditions are adhered to. The following
conditions apply to all code found in this
distribution, be it the RC4, RSA, lhash,
DES, etc., code; not just the SSL code.
The SSL documentation included with
this distribution is covered by the same
copyright terms except that the holder is
Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as
such any Copyright notices in the code
are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric
Young should be given attribution as the
author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual
message at program startup or in
documentation (online or textual) provided
with the package.

Redistribution and use in source and
binary forms, with or without modification,
are permitted provided that the following
conditions are met:

1. Redistributions of source code must
retain the copyright notice, this
list of conditions and the following
disclaimer.
2. Redistributions in binary form must
reproduce the above copyright
notice, this list of conditions
and the following disclaimer in
the documentation and/or other
materials provided with the
distribution.
3. All advertising materials mentioning
features or use of this software
must display the following
acknowledgement:

"This product includes cryptographic
software written by Eric Young (eay@

cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left
out if the routines from the library
being used are not cryptographic
related :-).

4. If you include any Windows specific
code (or a derivative thereof) from the
apps directory (application code) you
must include an acknowledgement:

"This product includes software
written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.
com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY
EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL
THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE
LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,
OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY
THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any
publicly available version or derivative
of this code cannot be changed. i.e.
this code cannot simply be copied and
put under another distribution license
[including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown.
You may use this program, or code or
tables extracted from it, as desired
without restriction.

First, the polynomial itself and its table of
feedback terms. The polynomial is $X^{32} +$
 $X^{26} + X^{23} + X^{22} + X^{16} + X^{12} + X^{11}$

オープンソースソフトウェアについて

ビューアソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below.

<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについてはお買い上げの販売店または JVC ケンウッド カスタマーサポートセンターにご相談ください。

<問い合わせ先>

JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-977-846 (ディーラーオプション専用窓口)

FAX 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.46) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12